

令和 7 年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	72	木曽青峰 高等学校	全 課程	理数 科
----------	----	--------------	------	------

学校教育目標	道徳教育の重点目標
新しい生き方、新しい社会の実現を目指し、自らを、地域を、社会を re デザインする人を育てる(re デザイン/繰り返し描き実現していく) (教育方針) ◇育てたい人間像 ○あきらめのない心を持ち、創造力豊かに、自分や地域・社会の未来を re デザインしていく人 ○課題解決に向かって、様々な立場を乗り越え、多様な主体とともに力を合わせていく人 ○自然や地域文化を大切にすることを、地球環境の未来を考える視野を併せ持った人 ◇育てたい力 ○幅広い教養とそれによる自分と社会をつなげてみる視野の広がり『教養力』 ○将来の可能性を広げるため、まずその基本固めを志す『基本力』 ○物事を理論的に考え、本質を見抜こうとする『探究力』 ○物事の新しい在り方、モノづくりの明日をデザインして表現できる『構想力』 ○多様な主体を互いに認め合い、他者と力を合わせて課題に取り組む『協働力』 ○主体的に自分や社会の未来を描き続けようとする『志力』	① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。 ② 多様な生徒の進路希望をサーチし、自己肯定力を持たせながら主体的に自己の到達点を定めた学びができる生徒の育成を、様々な機会を活かし進める。 ③ 地域社会や地元の教育機関とつながり、開かれた学校を目指しながら、生徒自身が地域社会に参画し貢献できる環境を活用し、個人と社会のWell beingを実現させる。 ④ 専門科の全国募集に向け、実施に向けた学びの環境を整える。
重点目標	
① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。 ② 多様な生徒の進路希望をサーチし、自己肯定力を持たせながら主体的に自己の到達点を定めた学びができる生徒の育成を、様々な機会を活かし進める。 ③ 地域社会や地元の教育機関とつながり、開かれた学校を目指しながら、生徒自身が地域社会に参画し貢献できる環境を活用し、個人と社会のWell beingを実現させる。 ④ 専門科の全国募集に向け、実施に向けた学びの環境を整える。	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1 年	学校内外での諸活動を通して、自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本になる態度を養い、資質・能力を高める。	基礎的・汎用的能力の育成からキャリア意識を高める活動に取り組む。 ○キャリアガイダンス ○ソーシャル・スキル・トレーニング ○文理選択	仲間とともに協力し合う活動の中で、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身に付ける。 OSNSの正しい利用法について ○人権学習（いじめのない学校生活のために）	自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動における望ましい人間関係の在り方について ○文化祭 ○委員会活動	国語	言葉による見方・考え方を働かせ、他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を育む。
					地理歴史	社会との関わりを意識して課題を追及することによって、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育む。
						公民
2 年	主体的に行動する態度を養い、人間としての在り方や生き方についての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と行動力を身に付ける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ○進路探究 ○進路別科目選択	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ○防災学習（修学旅行事前学習） ○人権学習（多様な価値観や文化との共生）	校内組織における中心的な存在として主体的に行動し、目標に実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身に付ける。 ○部活動内で行われる諸活動 ○文化祭 ○生徒会の運営 ○委員会活動	数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養う。
					理科	自然の事物・現象を探究する活動を通して、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。
					保健体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にすることを養う。
					芸術	芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
					外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、多様性を尊重し、主体的・自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
3 年	社会の諸課題に対して主体的に解決していくこととする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を涵養する。	よりよい社会を構成する一人としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ○進路探究	社会の構成員としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○高校卒業後の在り方について ○人権学習（社会生活の中の権利と責任）	社会を構成する一人としての自覚に基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○生徒会の運営 ○委員会活動 ○文化祭の運営 ○ボランティア活動	家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育成する。
					情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身に付ける。
					理数探究	探究の見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な取組をとおして、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する態度を養う。

家庭・地域との連携	・校内の諸活動について、地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ・家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成員としての自覚を高める。
-----------	--

令和 7 年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	72	木曽青峰 高等学校	全 課程	普通 科
----------	----	--------------	------	------

学校教育目標	道徳教育の重点目標
新しい生き方、新しい社会の実現を目指し、自らを、地域を、社会を re デザインする人を育てる(re デザイン:繰り返し描き実現していく) (教育方針) ◇育てたい人間像 ○あきらめのない心を持ち、創造力豊かに、自分や地域・社会の未来を re デザインしていく人 ○課題解決に向かって、様々な立場を乗り越え、多様な主体とともに力を合わせていく人 ○自然や地域文化を大切にすることをもち、地球環境の未来を考える視野を併せ持った人 ◇育てたい力 ○幅広い教養とそれによる自分と社会をつなげてみる視野の広がり『教養力』 ○将来の可能性を広げるため、まずその基本固めを志す『基本力』 ○物事を理論的に考え、本質を見抜こうとする『探究力』 ○物事の新しい在り方、モノづくりの明日をデザインして表現できる『構想力』 ○多様な主体を互いに認め合い、他者と力を合わせて課題に取り組む『協働力』 ○主体的に自分や社会の未来を描き続けようとする『志力』	① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。 ② 多様な生徒の進路希望をサーチし、自己肯定力を持たせながら主体的に自己の到達点を定めた学びができる生徒の育成を、様々な機会を活かし進める。 ③ 地域社会や地元の教育機関とつながり、開かれた学校を目指しながら、生徒自身が地域社会に参画し貢献できる環境を活用し、個人と社会のWell beingを実現させる。 ④ 専門科の全国募集に向け、実施に向けた学びの環境を整える。
重点目標	
① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。 ② 多様な生徒の進路希望をサーチし、自己肯定力を持たせながら主体的に自己の到達点を定めた学びができる生徒の育成を、様々な機会を活かし進める。 ③ 地域社会や地元の教育機関とつながり、開かれた学校を目指しながら、生徒自身が地域社会に参画し貢献できる環境を活用し、個人と社会のWell beingを実現させる。 ④ 専門科の全国募集に向け、実施に向けた学びの環境を整える。	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1 年	学校内外での諸活動を通して、自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本になる態度を養い、資質・能力を高める。	基礎的・汎用的能力の育成からキャリア意識を高める活動に取り組む。 ○キャリアガイダンス ○ソーシャル・スキル・トレーニング ○文理選択	仲間とともに協力し合う活動の中で、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身に付ける。 OSNSの正しい利用法について ○人権学習（いじめのない学校生活のために）	自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動における望ましい人間関係の在り方について ○文化祭 ○委員会活動	国語	言葉による見方・考え方を働かせ、他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を育む。
	2 年	主体的に行動する態度を養い、人間としての在り方や生き方についての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と行動力を身に付ける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ○進路探究 ○進路別科目選択	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ○防災学習（修学旅行事前学習） ○人権学習（多様な価値観や文化との共生）	校内組織における中心的な存在として主体的に行動し、目標に実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身に付ける。 ○部活動内で行われる諸活動 ○文化祭 ○生徒会の運営 ○委員会活動	地理歴史
3 年		社会の諸課題に対して主体的に解決していくこととする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を涵養する。	よりよい社会を構成する一人としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ○進路探究	社会の構成員としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○高校卒業後の在り方について ○人権学習（社会生活の中の権利と責任）	社会を構成する一人としての自覚に基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○生徒会の運営 ○委員会活動 ○文化祭の運営 ○ボランティア活動	公民
					数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養う。
					理科	自然の事物・現象を探究する活動を通して、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。
					保健体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にすることを養う。
					芸術	芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
					外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、多様性を尊重し、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
					家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育成する。
					情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度を身に付ける。
					総合的な探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な取組をおいて、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する態度を養う。

家庭・地域との連携	・校内の諸活動について、地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ・家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成員としての自覚を高める。
-----------	--

令和7年度 道徳教育 全体計画

学校番号	72	木曽青峰 高等学校	全 課程	森林環境 科
------	----	-----------	------	--------

学校教育目標	道徳教育の重点目標
新しい生き方、新しい社会の実現を目指し、自らを、地域を、社会を re デザインする人を育てる(re デザイン/繰り返し描き実現していく) (教育方針) ◇育てたい人間像 ○あきらめのない心を持ち、創造力豊かに、自分や地域・社会の未来を re デザインしていく人 ○課題解決に向かって、様々な立場を乗り越え、多様な主体とともに力を合わせていく人 ○自然や地域文化を大切にすることを、地球環境の未来を考える視野を併せ持った人 ◇育てたい力 ○幅広い教養とそれによる自分と社会をつなげてみる視野の広がり『教養力』 ○将来の可能性を広げるため、まずその基本固めを志す『基本力』 ○物事を理論的に考え、本質を見抜こうとする『探究力』 ○物事の新しい在り方、モノづくりの明日をデザインして表現できる『構想力』 ○多様な主体を互いに認め合い、他者と力を合わせて課題に取り組む『協働力』 ○主体的に自分や社会の未来を描き続けようとする『志力』	① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。 ② 多様な生徒の進路希望をサーチし、自己肯定力を持たせながら主体的に自己の到達点を定めた学びができる生徒の育成を、様々な機会を活かし進める。 ③ 地域社会や地元の教育機関とつながり、開かれた学校を目指しながら、生徒自身が地域社会に参画し貢献できる環境を活用し、個人と社会のWell beingを実現させる。 ④ 専門科の全国募集に向け、実施に向けた学びの環境を整える。
重点目標	
① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。 ② 多様な生徒の進路希望をサーチし、自己肯定力を持たせながら主体的に自己の到達点を定めた学びができる生徒の育成を、様々な機会を活かし進める。 ③ 地域社会や地元の教育機関とつながり、開かれた学校を目指しながら、生徒自身が地域社会に参画し貢献できる環境を活用し、個人と社会のWell beingを実現させる。 ④ 専門科の全国募集に向け、実施に向けた学びの環境を整える。	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1 年	学校内外での諸活動を通して、自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本になる態度を養い、資質・能力を高める。	基礎的・汎用的能力の育成からキャリア意識を高める活動に取り組む。 ○キャリアガイダンス ○ソーシャル・スキル・トレーニング ○資格取得	仲間とともに協力し合う活動の中で、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身に付ける。 OSNSの正しい利用法について ○人権学習（いじめのない学校生活のために）	自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動における望ましい人間関係の在り方について ○文化祭 ○委員会活動	国語	言葉による見方・考え方を働かせ、他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を育む。
	2 年	主体的に行動する態度を養い、人間としての在り方や生き方についての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と行動力を身に付ける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ○進路探究 ○インターンシップ ○資格取得	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ○防災学習（修学旅行事前学習） ○人権学習（多様な価値観や文化との共生）	校内組織における中心的な存在として主体的に行動し、目標に実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身に付ける。 ○部活動内で行われる諸活動 ○文化祭 ○生徒会の運営 ○委員会活動	地理歴史
3 年		社会の諸課題に対して主体的に解決していくこととする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を涵養する。	よりよい社会を構成する一人としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ○進路探究 ○課題研究 ○資格取得	社会の構成員としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○高校卒業後の在り方について ○人権学習（社会生活の中の権利と責任）	社会を構成する一人としての自覚に基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○生徒会の運営 ○委員会活動 ○文化祭の運営 ○ボランティア活動	公民
					数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養う。
					理科	自然の事物・現象を探究する活動を通して、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。
					保健体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にすることを養う。
					芸術	芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
					外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、多様性を尊重し、主体的・自覚的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
					家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育成する。
					情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身に付ける。
					課題研究	探究の見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な取組をとおして、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する態度を養う。
					農業	農業に関する科学的な見方・考え方を働かせ、農業と社会の発展を図る創造的な態度を育む。

家庭・地域との連携	・校内の諸活動について、地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ・家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成員としての自覚を高める。
-----------	--

令和7年度 道徳教育 全体計画

学校番号	72	木曽青峰 高等学校	全 課程	インテリア 科
------	----	-----------	------	---------

学校教育目標	道徳教育の重点目標
新しい生き方、新しい社会の実現を目指し、自らを、地域を、社会を re デザインする人を育てる(re デザイン:繰り返し描き実現していく) (教育方針) ◇育てたい人間像 ○あきらめのない心を持ち、創造力豊かに、自分や地域・社会の未来を re デザインしていく人 ○課題解決に向かって、様々な立場を乗り越え、多様な主体とともに力を合わせていく人 ○自然や地域文化を大切にすることを、地球環境の未来を考える視野を併せ持った人 ◇育てたい力 ○幅広い教養とそれによる自分と社会をつなげてみる視野の広がり『教養力』 ○将来の可能性を広げるため、まずその基本固めを志す『基本力』 ○物事を理論的に考え、本質を見抜こうとする『探究力』 ○物事の新しい在り方、モノづくりの明日をデザインして表現できる『構想力』 ○多様な主体を互いに認め合い、他者と力を合わせて課題に取り組む『協働力』 ○主体的に自分や社会の未来を描き続けようとする『志力』	① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。 ② 多様な生徒の進路希望をサーチし、自己肯定力を持たせながら主体的に自己の到達点を定めた学びができる生徒の育成を、様々な機会を活かし進める。 ③ 地域社会や地元の教育機関とつながり、開かれた学校を目指しながら、生徒自身が地域社会に参画し貢献できる環境を活用し、個人と社会のWell beingを実現させる。 ④ 専門科の全国募集に向け、実施に向けた学びの環境を整える。
重点目標	
① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。 ② 多様な生徒の進路希望をサーチし、自己肯定力を持たせながら主体的に自己の到達点を定めた学びができる生徒の育成を、様々な機会を活かし進める。 ③ 地域社会や地元の教育機関とつながり、開かれた学校を目指しながら、生徒自身が地域社会に参画し貢献できる環境を活用し、個人と社会のWell beingを実現させる。 ④ 専門科の全国募集に向け、実施に向けた学びの環境を整える。	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1 年	学校内外での諸活動を通して、自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本になる態度を養い、資質・能力を高める。	基礎的・汎用的能力の育成からキャリア意識を高める活動に取り組む。 ○キャリアガイダンス ○ソーシャル・スキル・トレーニング ○資格取得	仲間とともに協力し合う活動の中で、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身に付ける。 OSNSの正しい利用法について ○人権学習 (いじめのない学校生活のために)	自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動における望ましい人間関係の在り方について ○文化祭 ○委員会活動	国語	言葉による見方・考え方を働かせ、他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を育む
2 年	主体的に行動する態度を養い、人間としての在り方や生き方についての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と行動力を身に付ける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ○進路探究 ○インターンシップ ○資格取得	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ○防災学習 (修学旅行事前学習) ○人権学習 (多様な価値観や文化との共生)	校内組織における中心的な存在として主体的に行動し、目標に実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身に付ける。 ○部活動内で行われる諸活動 ○文化祭 ○生徒会の運営 ○委員会活動	地理歴史	社会との関わりを意識して課題を追究することによって、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育む。
3 年	社会の諸課題に対して主体的に解決していくこととする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を涵養する。	よりよい社会を構成する一人としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ○進路探究 ○課題研究 ○資格取得	社会の構成員としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○高校卒業後の在り方について ○人権学習 (社会生活の中の権利と責任)	社会を構成する一人としての自覚に基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○生徒会の運営 ○委員会活動 ○文化祭の運営 ○ボランティア活動	公民	持続可能な社会づくりの観点から地球規模の諸問題や地域課題を解決しようとする態度を育む。
					数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を高め、創造性の基礎を養う。
					理科	自然の事物・現象を探究する活動を通して、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。
					保健体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にする態度を養う。
					芸術	芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
					外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、多様性を尊重し、主体的・自覚的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
					家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育成する。
					情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度を身に付ける。
					課題研究	探究の見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な取組をとおして、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する態度を養う。
					工業	工業に関する科学的な見方・考え方を働かせ、工業と社会の発展を図る創造的な態度を育む。

家庭・地域との連携	・校内の諸活動について、地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ・家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成員としての自覚を高める。
-----------	--